



平成31年2月8日  
青森河川国道事務所

## 青森県内の高速ネットワークが拡大！

平成31年3月16日（土）<sup>かみきた</sup>上北IC～<sup>しちのへ</sup>七戸IC 開通

国土交通省が整備を進めてまいりました一般国道45号<sup>かみきたてんまばやし</sup>上北天間林道路（<sup>かみきた</sup>上北IC～<sup>しちのへ</sup>七戸IC）延長7.8kmが開通することとなりましたのでお知らせします。  
また、今回の開通予定区間のインターチェンジ名称が決定しましたので併せてお知らせします。

### ＜<sup>かみきたてんまばやし</sup>上北天間林道路の開通による主な整備効果＞

- 道路整備の延伸により、地域産業の生産性が向上
- 「立体観光」によるインバウンド拡大を支援
- 救急搬送の速達性・安定性が飛躍的に向上

### 【<sup>かみきたてんまばやし</sup>上北天間林道路】

1. 開通区間 延長7.8km

<sup>かみきた</sup>上北IC ～ <sup>しちのへ</sup>七戸IC

2. 開通日

平成31年3月16日（土）

3. インターチェンジ正式名称

<sup>とうほく</sup>東北IC ← （仮称）<sup>かみきた</sup>上北（2）IC

<sup>しちのへ</sup>七戸IC ← （仮称）<sup>てんまばやし</sup>天間林（1）IC

※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします。

※今回開通する区間は、これまでの区間と同様に無料で通行できます。

※今回通行する区間は、自動車専用道路となりますので、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません。

※インターチェンジ名称については、地元自治体の意見を反映し決定しております。

＜記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社＞

### 問 合 せ 先

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所

副 所 長 <sup>おおさわ</sup>大澤 <sup>なおふみ</sup>尚史 （代表）TEL 017-734-4521

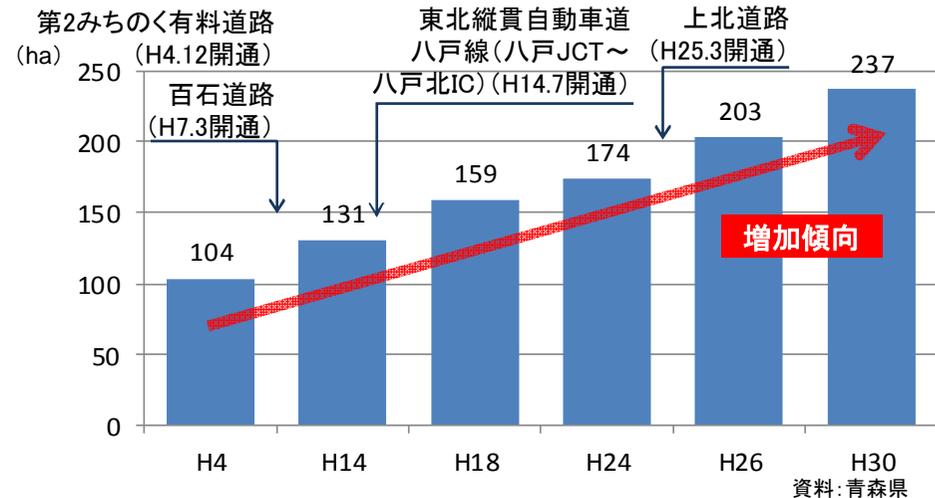


# [上北天間林道路] 道路整備の延伸により、地域産業の生産性が向上

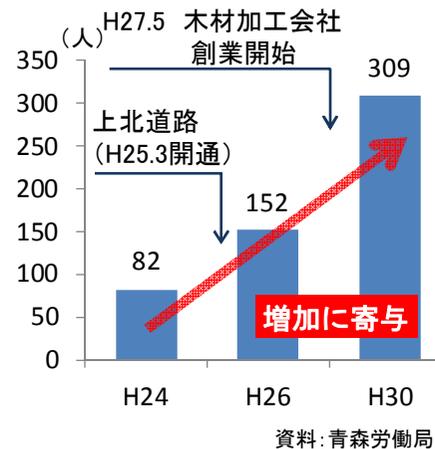
- ◆三八上北地域はこれまで高速道路延伸により工業団地の分譲面積が増加傾向。更にH27年には国内第1位の木材加工工場(年間生産量：約6万m<sup>3</sup>、直接雇用100名)が新設され、H31年4月には新工場が増設予定(約12万m<sup>3</sup>に増産)。
- ◆工場新設による直接雇用が地域の高卒求人数増加に寄与。新工場増設により、更なる地域雇用を創出。
- ◆上北自動車道延伸により、下北・津軽方面からの原木搬入から製品加工までの更なる効率化と生産性向上に大きく貢献。



【三八上北地域の工業団地の分譲済み面積の推移】



【六戸町周辺地域の高卒求人数】



【木材加工会社の声】

- 木材の入手し易さ、高速道路へのアクセス性の良さから当地に立地
- 直接雇用は、六戸町周辺市町村の高校生を多く採用
- 上北天間林道路の整備により、原木の搬入時間の短縮によるドライバーの疲労軽減と物流コスト縮減に期待

【六戸町の声】

- 木材加工工場の新設と増設により、今後町民税(法人税)の増加に期待

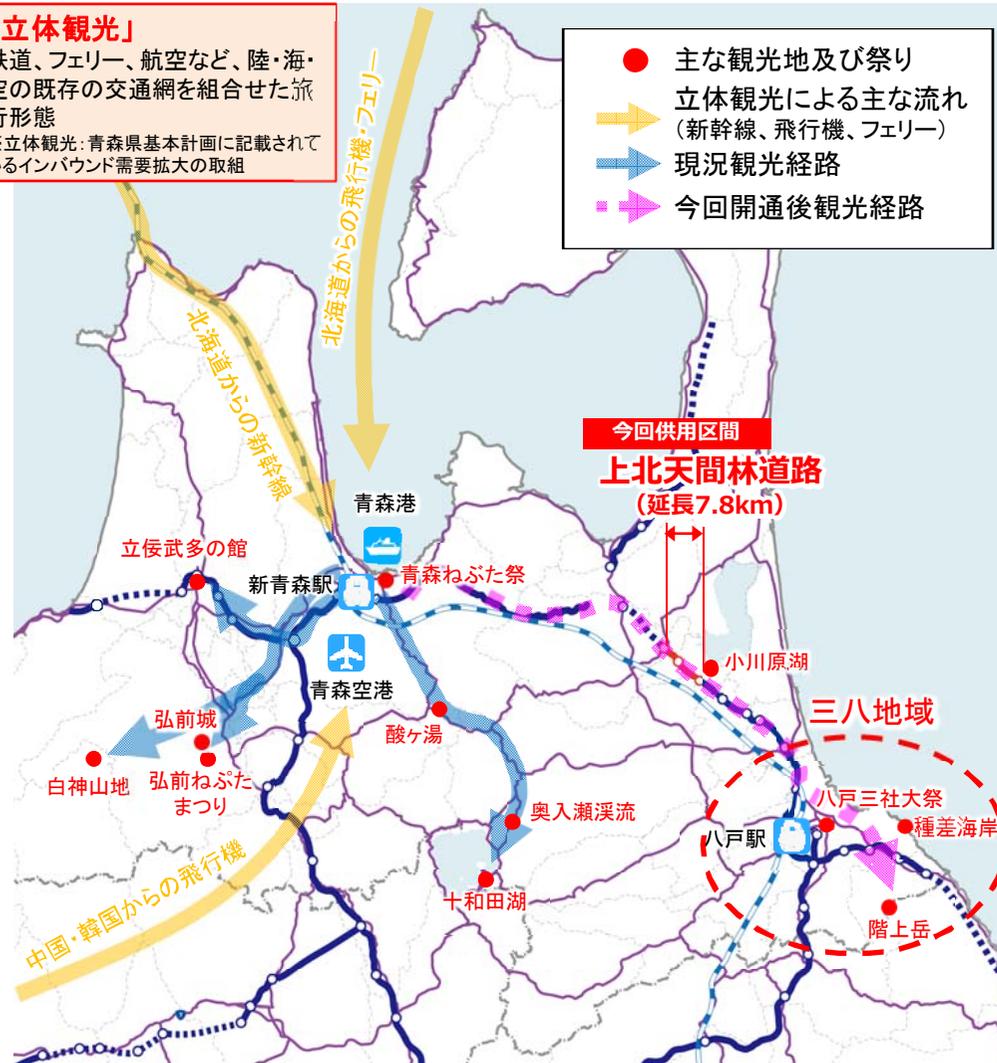
# [上北天間林道路] 「立体観光」によるインバウンド拡大を支援

- ◆ 鉄道、フェリー、航空などを組み合わせた「立体観光」の推進により、クルーズ船寄港数や青森空港の国際便数、外国人宿泊者数（東北1位）が増加。
- ◆ しかし、県都青森市からの道路ネットワークが未整備である三八地域は時間距離が長く、外国人入込客数の伸び率が小さい。
- ◆ 上北自動車道延伸により移動時間が短縮し、青森県が推進する立体観光を支援する道路ネットワークが形成。

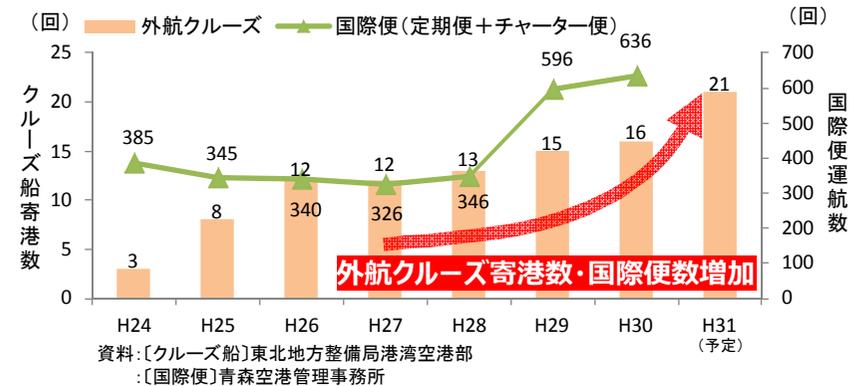
## 「立体観光」

鉄道、フェリー、航空など、陸・海・空の既存の交通網を組合せた旅行形態

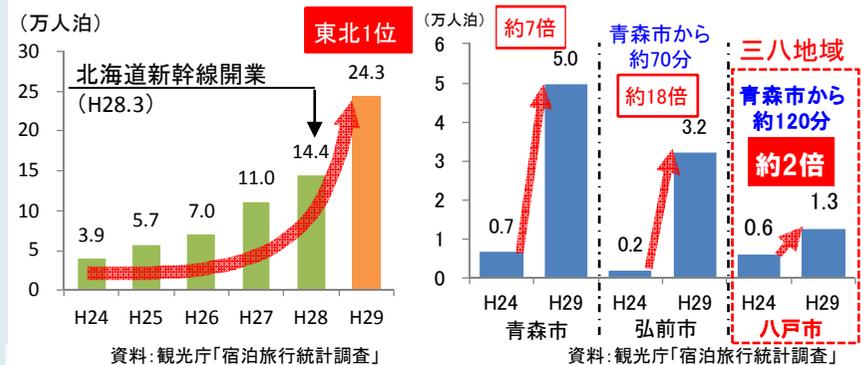
※立体観光：青森県基本計画に記載されているインバウンド需要拡大の取組



【青森港クルーズ船寄港数と青森空港国際便数の推移】



【青森県延べ外国人宿泊者数の推移】 【市別延べ外国人宿泊者数の変化】

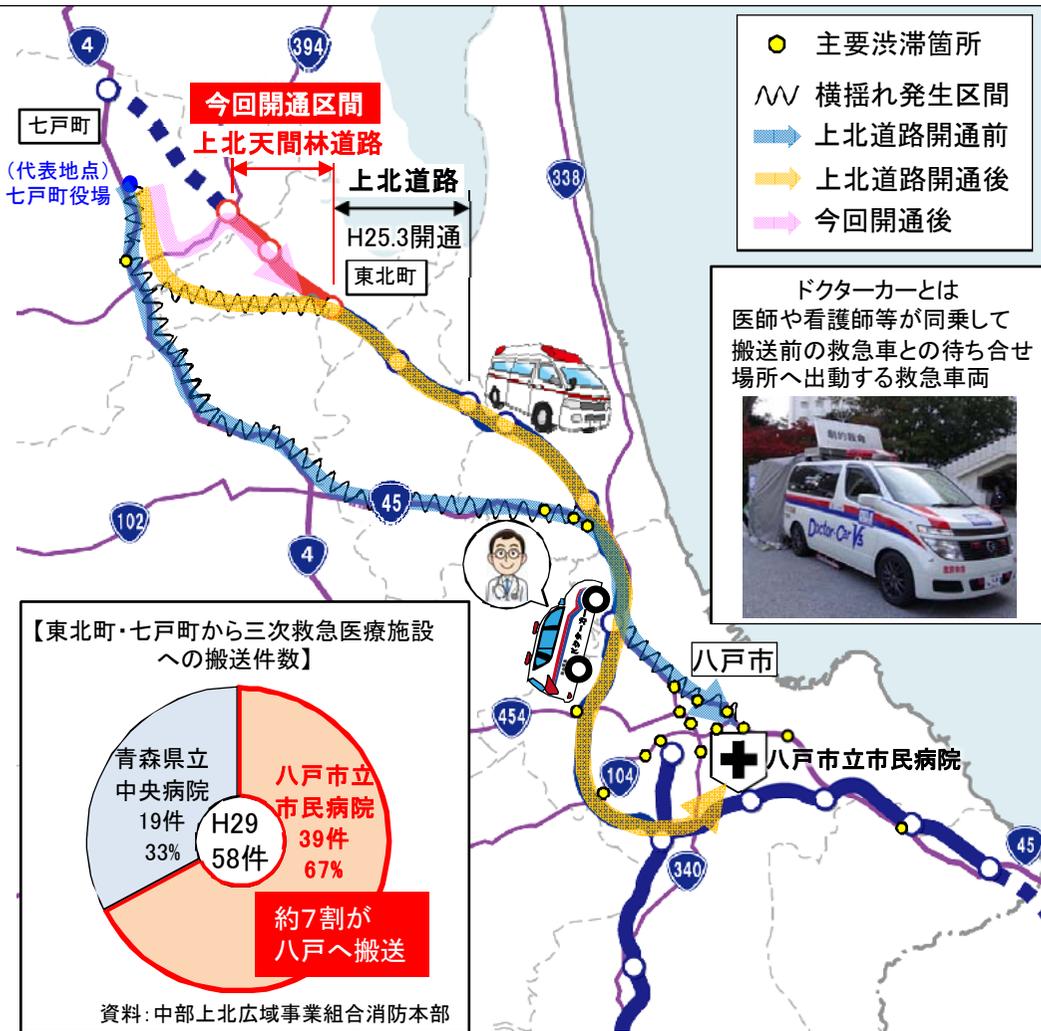


## 【バス事業者からの期待の声】

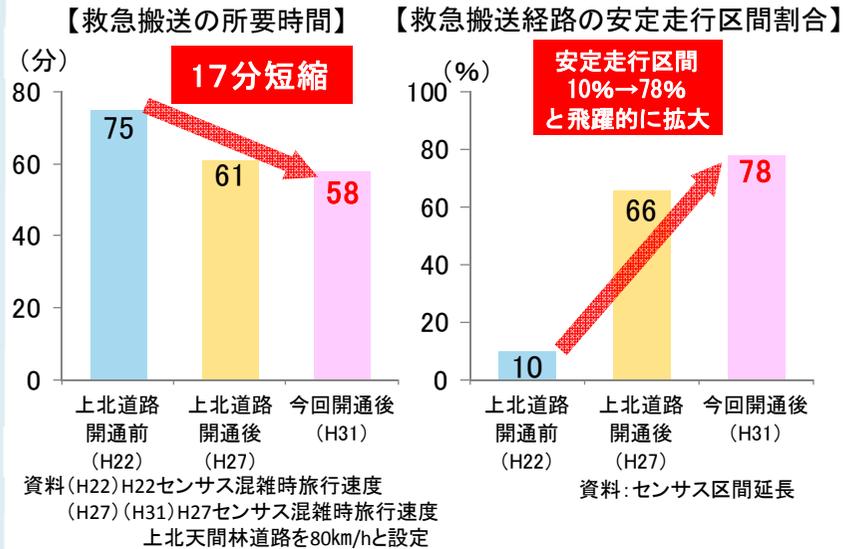
- 青森市⇄八戸市間は現状で2時間程度かかることから、ツアーが設定されにくい
- 道路整備により、時間が短縮された場合、上北地域の観光地を經由して、三陸復興国立公園の種差海岸、階上岳などの観光地を組み込んだ新規ツアーが設定される可能性が高い

# [上北天間林道路] 救急搬送の速達性・安定性が飛躍的に向上

- ◆ 東北町、七戸町から三次救急医療施設への搬送は、約7割が八戸市立市民病院へ搬送。
- ◆ 上北自動車道整備により、三次救急医療施設へのアクセスが向上すると共に、H22年に導入されたドクターカーによる救命医療活動を支援。
- ◆ 上北自動車道延伸により搬送時間が17分短縮し、安定走行区間が約8割に拡大。更に速達性が向上し、救命医療及び救命救急活動を支援。



▲救急搬送ルート



- 【八戸市立市民病院の声】**
- 上北道路等の整備により移動時間が短縮し、早期救命処置が可能となることから救命救急への効果は大きい。
- 【中部上北広域事業組合消防本部の声】**
- 次の早期出勤に備え、帰りも高速道路を利用するため、救急活動においては、大幅に短縮したことで大きく助かっている。
  - 更に、上北天間林道路の整備により、搬送時間の短縮や安定走行区間の延伸が図られることから、患者の早期処置、負担軽減に期待。